昭和44年5月7日発行

特集号

町報 あそう

発行所 麻生町1561−9 麻生町役場
発行人 電話(代)420番 小沼幸蔵
印刷所 麻生印刷

第一診療所診療科目

- 胃腸科
- 外科
- 放射線科
- 臨床検査センター

近代設備を誇る第一診療所が完成

診療は五月九日から

麻生町第一診療所の新築工事は、このほど完成し、五月七日竣工開所式を行い。五月九日から診療を開始いたします。

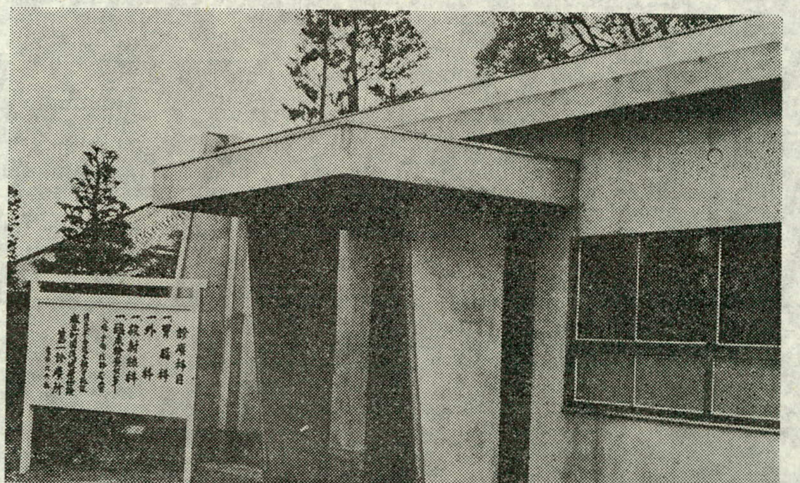
この診療所は、鉄筋コンクリート造り平家、四八〇平方メートル、総工費一、七九五万円で、国庫補助三七五万円県費補助一八七万円、国民年金還元融資により一、三〇〇万円です。工事は東京大和設計事務所の設計監理により、北浦村の鹿行建設が請負つたものです。

なお、医師は、東京女子医科大学消化器センターのご協力により、秋田善昭先生が就任されました。

秋田先生は、東京女子医科大消化器病センターの中山恒明教授のもとで、一般外科はもちろん、特に消化器病にたいしては最高の技術を修得しておりますので、先生の手腕が期待されます。

なお、開所式の当日、国保運営協議会委員として十年以上勤務され、国保事業発展につくされた次のかたが表彰されます。

麻生 新井田新助
宇崎 新堀昌之輔



東京女子医科大学消化器病センター所長 教授 中山恒明

医学の理想は、何時何処でも、その時代の最高の水準で治療が行われることにあると思います。今回、麻生町が近代的な診療所を設立し、その上、諸設備を充実して地方医療の格差を一挙に解消しようとされた御協力にたいして町の当局者の方々に敬意を表すると同時に、全町民の皆様にお慶びを申したいと存じます。

しかしながら、如何なる立派な診療所を設備されても、それを運営し、実際に動かす〝人〟を得なければむしろ無用の長物と化すでありましょう。

私は大学教授として、二十数年になりますが、多数の弟子が全国致る処でその地方の人々に修得した技術を惜しみなく、奉仕して近代医療の普及に努めていることを常日頃非常な慶びとしているものであります。今回、この新診療所建設に際し、熱心な御懇請を受け、愛弟子の一人、秋田博士を御推薦するに至つたのであります。聞くところによりますと、御地は風光明盾、人情淳朴であるとのことで秋田博士の人柄にぴつたりの土地柄と存じます。秋田博士が私のもとで大学卒業後八年間にわたる主として胃腸病並びに外科等の臨床経験を基としてその力を十二分に発揮して町民各位の期待に答えるであろうことは疑う余地がありません。開所並びに秋田博士の就任にあたり、新診療所の発展を祈り、町民各位の御清栄を祈念致します。

東京女子医科大学消化器病センター 医局長 佐久間映夫

麻生町国民健康保険第一診療所開設おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

過日麻生町を訪れ、町長、諸役員の方々とお会いし、建設中の診療所を見学させていただき、その将来の設計図、近代医療設備を導入すると云うお話をうかがい、地域社会福祉、厚生に対するなみなみならぬ情熱に、ただ敬服するのみでございます。

私共、東京女子医大消化器病センターは、御存知の方もあるかと存じますが、中山恒明教授が主催し、日本でも有数な、いや世界でも有数な設備とスタツフを有し、ただ単に日本のためでなく、世界人類のためと日夜研究を重ね、医学会をリードしております。

この度診療所長に就任する秋田博士は、中山教授の愛弟子の一人で、極めてきびしい修練を経て、一般外科、特に消化器病にたいしては日本でも一流の技術を修得し、私共センターにおきましても必要な人材の一人でございます。秋田博士の地域社会、厚生への強い情熱、また私共の羽生富士夫教授出生の地という縁故もございますので、大学よりの出張となつたわけであります。今後、麻生町診療所と東京女字医大消化器センターと密接に関連をもちながら、お互に努力し相互の発展に寄与したいつもりでおります。

最后に町民の皆様方の健康、第一診療所の発展を心からお祈り申上げます。

麻生町長 小沼幸蔵

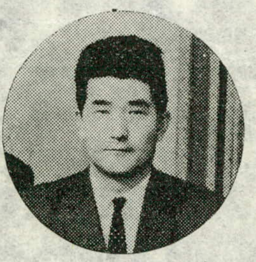
昭和四十三年度の事業として、建設中の麻生第一国保診療所が五月七日より開所の運びとなりました。

この建設については、諮問機関である町国保運営委員会の協力と議決機関である町議会の協讃とにより、県並びに厚生省の熱意ある御指導をいただき建設が進められ本日にいたりました。

御案内のように本町においては、外科系統の診療施設が不足であつたため、他府県に治療を求める方が多かつたのであります。幸い、この新しい診療所の開所とともに町の念願でありました診療所管理を担当する医師につきましては紙上で御あいさついただいております通り、東京女子医科大学より秋田善昭博士の派遣をいただくことになり、ここに新しい診療所に近代的医療器械の設備をいたしまして、利用者各位の健康管理ができますことは住民福祉の上からまことによろこばしい限りであります。

今后この診療所におきまして、近代的医療設備と人的資源とによりでき得る限りの機能を発揮して皆様の健康保持にお応えいたすべく努力いたす所存でございます。

お互の健康管理は早期的確な診断と、治療によることは申すまでもありません。どうぞこの施設を利用されまして、病という気を一掃し、家庭全員が健康で日日の業務に励むことができますよう念願いたしまして開所のごあいさつといたします。



東京女子医科大学消化器病センター 教授 羽生富士夫

父祖の地、我が麻生町に近代的医療を目的とした新診療所が町当局者および町民各位の熱意のもとに設立されたことは町出身の一医師として年来の希望がかない誠に慶ばしい限りであります。この間における町当局者の方々のなみなみならぬ御努力、御苦心に敬意を表するものであります。

私の出生地という縁もあり数年前よりこれ等設備を充分駆使し得る能力をもつた医師の御依頼を受けておりましたが今回、消化器病センターより秋田博士の着任のはこびに至つたのであります。秋田博士は東京女子医科大学消化器病センター設立以来の同志であり、共に消化器病の診断と治療に研鑽を致した仲でありまして、御地就任をその人柄と共に双手を挙げて御推薦出来る人物であります。必ずや町民各位の期待に応え、町民の健康福祉に渾身の情熱を傾けてくれるものと信じます。私も及ばずながら、郷土発展のために今後共微力をつくす所存でございます。開所並びに秋田博士就任にあたり、ひとしおの感慨と喜びをもつて、町民各位に御挨拶申し上げます。

麻生町才一診療所長 秋田善昭

今回、東京女子医科大学消化器病センターよりこの麻生町の診療所にまいることになつた秋田でございます。この麻生町へまいりました最初の印象は、東京のスモッグと異なる澄んだ空気、淳朴堅気な町民の皆様に接したことであります。こうした町に病気があるものかと疑ったものですが、精神衛生上は優れていても、数々の病は知らず知らずのうちに虫食まれていきます。私も消化器病センターにて数多くのガン患者に接してみて現在の近代医療をもって早期発見が可能であれば助けることが出来ても、約半数の患者が手遅れで根治手術が不能であります。先にも申し上げたように気分のよろしいこの町にだけは、手遅れの患者はだしたくない。又町民の皆様も希望なさっているのはガンに限らず消化器疾患や心蔵病等の確定診断を精密検査により知り確実に治療出来る診療所ということと存じます。私は何分弱輩ではございますが町長はじめ全町民の皆様の〝声〟にお答えすべく死力をつくす所存でございます。その為には町民皆様の病気に対するご自覚とご支援を賜わらねば出来ないことでございます。幸い町のご好意もあり近代医療を出来る設備も整いましたので先ず胃腸疾患を中心に自覚症状のある方を優先して、四十才以上の皆様の検診を考えております。ご希望の方はぜひ診療所においで下さい。又臨床検査センターとして糖尿病や肝臓疾患、その他に対する精密検査の設備がございます故ご利用下さい。食道ガンをはじめ世界の消化器外科の権威である中山恒明教授をはじめとして郷土の生んだ英才羽生富士夫教授等日本に誇る消化器病センターが全面的にバックアップしていただけることは、私にとって誠に幸せというほかございません。一人でも多く町民の皆様が喜んでいただける診療所にと努力いたしたいことが私の全てでございます。町民皆様のご協力を切にお願いして止みません。